

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC310	科目名	介護総合演習Ⅱ	担当者名	戸来 睦雄
授業の概要	実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深めるとともに、各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につなぐ。				
科目の到達目標	他職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。また、質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解する。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(30%) ⑦思考力(40%) ⑧実践力(30%)				
授業時間外学修(予習・復習)	「介護実習の手引き」とテキストの習熟。実習に向けた課題の明確化と助言指導。事前学習・ふりかえりのための学習をすること。予習復習を各2時間行うこと。				
フィードバックの方法	ミニツツペーパーをもとに、授業の前後で振り返りを行う。				
単位認定の要件	授業内活動や実践力の修達度等から総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	授業内活動(40%) ミニツツペーパー(20%) レポート(40%)				
履修上の注意事項	テキストの他、毎時間「介護実習の手引き」を持参すること。介護福祉士資格取得必須科目				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			介護実習前の学習の内容と方法	⑥、⑦	ミニツツペーパー
2			介護実習中の学習の内容と方法	⑥、⑦	ミニツツペーパー
3			介護実習後の学習の内容と方法	⑥、⑦	ミニツツペーパー
4			訪問介護の特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
5			通所介護の特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
6			通所リハビリテーションの特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
7			介護老人保健施設の特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
8			養護老人ホームの特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
9			グループホームの特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
10			小規模多機能型居宅介護の特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
11			障害者支援施設での特徴と実習先での学び	④、⑥	ミニツツペーパー
12			介護実習Ⅰのねらいと実習モデル	④、⑥	ミニツツペーパー
13			介護技術の実践を軸にした介護実習	⑥、⑦	ミニツツペーパー
14			介護実習Ⅱのねらいと実習モデル	⑥、⑦	ミニツツペーパー
15			介護過程を展開する介護実習	⑥、⑦	ミニツツペーパー
期末試験			レポート		

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座』第10巻「介護総合演習・介護実習」(中央法規出版) 発行: 荘村明彦 編集: 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	『イラストで理解する初めての介護-心と技術』川島みどり編集(中央法規出版)他
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--